

令和6年度東松山市地域公共交通計画目標達成度の評価

目標			目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
1 まちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成・維持	指標 1－1 居住誘導区域内における公共交通利用圏域の割合 現状【H30年度】88% →目標【R10年度】現状維持		■事業 1－② 路線バスの維持・利便性向上 ■事業 1－③ 市内循環バスの運行、見直し、利用促進 ■事業 1－④ デマンドタクシーの運行、見直し	R5年度東松山市立地適正化計画の評価	・【R4年度】88% ・現状維持	直近（R4）の数値は現状維持となっているが、公共交通の維持のため利用促進を行う。	
	指標 1－2 公共交通に対する市の財政負担額及び負担割合	①市内循環バスにおける市の年間負担額 現状【R4年度】約2,797万円/年 →目標【R10年度】現状維持		R6年度利用実績	・【R6年度】約2,808万円/年 ・11万円増	策定時よりも微増。 利用者数及び運賃収入共に増加傾向であるため、継続して運行する。	
		②デマンドタクシー利用1件あたりの市の負担額 現状【R4年度】約797円/件 →目標【R10年度】現状維持		R6年度利用実績	・【R6年度】約976円/件 ・179円増	R5年11月の運賃改定後から市の負担額及び財政負担割合が増加傾向である。利用状況や市の負担額、財政負担割合を継続的に検証する。	
		③デマンドタクシー利用に係る市の財政負担割合 現状【R4年度】50% →目標【R10年度】現状維持		R6年度利用実績	・【R6年度】約52.7% ・2.7%増		
2 誰もが分かりやすく、快適に移動できる環境の整備	指標 2 交通の利便性の満足度 現状【R4年度】32.3% →目標【R10年度】34%		■事業 1－② 路線バスの維持・利便性向上 ■事業 1－③ 市内循環バスの運行、見直し、利用促進 ■事業 1－④ デマンドタクシーの運行、見直し ■事業 2－② 駅前広場の整備等 ■事業 3－① バス待合環境の充実 ■事業 4－① ノンステップバス車両の導入促進 ■事業 4－② ユニバーサルデザインタクシー車両の導入促進 ■事業 5－① 観光客向けの案内・情報提供の充実	R6年度市民意識調査（隔年実施）	・【令和6年度】35.5% ・3.2%増	目標数値を上回っているが、継続して路線を維持し、バスまちスポットの登録促進やデマンドタクシー乗降ポイントの可視化等利用環境の改善に取り組む。	
3 みんなで支える公共交通の構築	指標 3 鉄道、路線バス、市内循環バスの1日平均利用者数 現状【R4年度】55,593人 →目標【R10年度】現状維持		■事業 1－② 路線バスの維持・利便性向上 ■事業 1－③ 市内循環バスの運行、見直し、利用促進 ■事業 1－④ デマンドタクシーの運行、見直し ■事業 2－② 駅前広場の整備等 ■事業 3－① バス待合環境の充実 ■事業 4－① ノンステップバス車両の導入促進 ■事業 4－② ユニバーサルデザインタクシー車両の導入促進 ■事業 5－① 観光客向けの案内・情報提供の充実 ■事業 6－① 公共交通（バス）マップの充実 ■事業 6－② 公共交通に対する市民意識の醸成 ■事業 6－③ シルバー・サポーター制度の周知等	鉄道 50,110人（東武鉄道HP） 路線バス 8,287人（統計ひがしまつやま） 市内循環バス 189人（R6年度利用実績）	・【令和6年度】58,586人 ・2,993人増	利用者は増加しているので、継続して利用促進に取り組む。	